

CONTENTS

目次

1	ごあいさつ	1
2	祝 辞	4
3	建技研のあゆみ	8
4	思い出のアルバム	14
5	第51回定時総会・創立50周年記念祝賀会	25
6	支部だより	32
7	愛知県建築技術研究会歴代役員一覧表	48
8	会員被表彰者一覧表	54
9	愛知県建築技術研究会 組織図	55
10	平成30年度 各委員会 委員名簿	56
11	会員名簿	58



愛知県建築技術研究会

会長 水野恒平

昭和43年8月1日、東三支部、西三支部、豊田支部が核となって愛知県建築技術研究会は設立されました。特に倉知俊彦顧問のお取り計らいで、当時の桑原幹根知事、村田敬二郎建築部長を巻き込んで、この会が大変な熱意と情熱を掛け発足されました事に心より敬意を表します。

発足当時249社の会員は、途中411社まで増員しましたが、現在では222社と会員数を半減させてしまいました。50年という歴史の流れを感じると共に、私会長の不徳の致す所と深く反省する次第でございます。私と致しましては現在捲土重来、当研究会の発展を誓う心で一杯でございます。

昭和43年と申しますと、日本のGNPがアメリカに次いで2位になり、夏季メキシコオリンピックが10月に開幕、男子体操団体、個人で優勝、男子マラソンで君原健二氏の準優勝、男子サッカーの3位と日本の選手が頑張った年でもあります。又、川端康成氏のノーベル文学賞受賞、飛騨川バス転落事故、日本初の超高層ビル霞ヶ関ビル(地上147m)の完成、さらに翌昭和44年には、東名高速道路の全線開通により名神高速道路と直結し、日本経済は着実に高度成長を遂げて戦後最長の「いざなぎ景気」を迎え、ドルショック、オイルショックには遭ったものの建設業界も佳境を呈しておりました。

しかしながら平成3年から始まるバブル崩壊で日経平均株価は3万9千円から2万円を割り、株価の暴落を皮切りにリーマンショック、サブプライムローン崩壊を経て、特に平成21年3月の日経平均株価は7千円まで下がり、この業界もまた幾多の試練に晒されて参りました。

そうした中、平成24年からの安倍政権による経済政策、いわゆるアベノミクス(金融政策・財政政策・成長戦略)により、公共工事にも明るい兆しが見え、建築工事受注業者の責務として、公共工事の品質確保、入札契約制度への対応、生産性の向上、担い手確保・育成に向けた働き方改革の推進に向け、全力で取り組むよう努めて参りました。そして今後も、地元建設業団体として組織を生かし、末永く県内地域社会に貢献して参る所存でございます。

ここに50周年事業の一環として、当研究会の歩みをまとめた記念誌を刊行することが出来ましたことは、ひとえに今日まで当研究会の設立に心血を注いで奔走されました諸先輩各位、会員の皆様のお陰と深く感謝申し上げる次第でございます。

結びに、本誌編集に当りご協力頂きました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げ、挨拶に替えさせていただきます。

ごあいさつ



愛知県建築技術研究会

顧問 倉知俊彦

愛知県建築技術研究会が、創立 50 周年をお迎えになりましたことに、心よりお慶びを申し上げます。

思い起こせば、昭和 43 年 8 月 1 日、愛知県建築技術研究会は、県内の建築業者の皆様が強い決意をもって参集され、代表に横井信也氏（三和建設社長）を選び初声を上げられました。

当時の愛知県知事は桑原幹根氏で、建築部長の村田敬次郎氏と共々、期待を込めて御祝辞を賜ったことを思い出します。

戦後の愛知の歩みの中で特筆すべきは、幾多の災害からの復興の歴史であります。愛知県は平素から県が中心となり、流域ごとに市町村が集まり、地方計画を作成し、県と市町村が一体となってその推進に努力して参りました。その成果として、2005 年の愛知万国博覧会を成功させました。

国際化への流れは急速です。高速交通機関の整備は都市機能のさらなる整備の必要性を生むこととなり、歴史に残る質の高い、文化の香り高い建物の必要性を生むことになると考えます。

自分が生まれ育った郷土を愛する人々が、郷土愛溢るる技術者が心を込めて造る建物が未来

に残る尊い文化財になると考える時、発注者にとって間違いなく貴研究会の存在が、必要な団体としてあると考えられるのであります。

歴代の会長を始め、役員の皆様のご苦勞に感謝を申し上げるとともに、今後も会員の強い団結力で、地域社会の信頼を得られることを確信いたします。

来春には平成から新しい年号へと時代が変わりますが、さらなるご発展を祈念し挨拶いたします。



愛知県建築技術研究会

相談役 鈴木 幸穂

この度、『愛知県建築技術研究会』の設立 50 周年、平成 30 年(2018) 8 月を迎えるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

当研究会は、昭和 43 年(1968) 8 月、愛知県下の中小建設業に携わる皆様の結束の下に、建築技術の研鑽・人材養成と企業体質の充実強化・業界体質の刷新を目指して設立されました。

当時の『桑原幹根県知事様』はじめ、村田建築部長様、県議団の皆様、建築関連の行政当局の皆様のご指導・ご支援を頂いて設立、今日に到りました。実に 50 年の長きに亘るご支援に対して、会員一同、心から感謝申し上げて居る次第であります。

当時、気概を共にして立ち上がった会員は『249 社』でしたが、『発足 25 周年』(1993)を祝った頃は、狂乱の不動産景気のピーク時に重なり、会員数は実に『400 社』を越える時期もありました。

顧みますと日本経済は、戦後の復興期・高度経済成長期・安定成長期・狂乱のバブル景気・そしてバブル崩壊へと、5つの時代の変遷を経て来ました。特に、バブル崩壊後は、不動産を担保にした銀行融資が大量に焦げ付き、金融証券業界は経営危機に直面し、公的資金の導入・業界再編成の波に打ちひしがれました。

又、社会資本整備の担い手である建設業は、大手・中堅の総合建設業もその例に漏れず、経営はかつてない苦境を呈しました。なかんずく、中小零細建設業は、二重構造の底辺にあって、『人材・技術・財力』の全てに亘って、経営の危機・限界を強いられました。

50 年前、地元の同業者・諸先輩が、『建築技術の向上』・『人材養成』・『企業体質の充実』・『業界の体質刷新』を目指して掲げた旗印は、今日、日本経済の変遷を読み取る時、正鵠を得た『旗印』であったと感動致します。

更に、50 年先・100 年先を洞察しながら、万博・国際空港・郷土創り・リニア交通と骨太の企画を打ち出して、地域の発展をリードしてきた県政に、深甚なる感謝を捧げるものであります。地元で生き、地元を守る業者として、これに過ぎる喜びは無かったはずです。

今後、更に進む建築技術の向上に磨きを掛ける事、それを支える『人間力』を備えた人材の養成が、重要であることは言うまでもありません。どうぞ、50 年の歴史を共に歩んで来た『建技研の会員』の皆様、これからも地域社会の安全と安心の為に全力を尽くして行こうではありませんか。

祝 辞



愛知県知事

大村 秀章

この度、愛知県建築技術研究会が記念すべき創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

水野会長始め、愛知県建築技術研究会の皆様方におかれましては、50年の長きにわたり、本県の建築住宅行政の推進に当たり、格別のご尽力をいただき、ありがとうございます。

リニア中央新幹線は2027年度の開業を目指し、「東京-名古屋」間について、沿線各地で本格的な土木工事が進められており、先日、鉄道事業者では初めてとなる大深度地下使用の認可申請が国土交通大臣に対し行われ、いよいよ全線着工に向け、さらに一歩踏み出してまいりました。引き続き、リニア中央新幹線の開通に向けて、沿線地域の皆様とともにしっかりと取り組んでまいります。

この4月に発表しましたが、モリコロパークにおいて、2022年度中の開業を目指し、ジブリパークの整備を進めてまいります。これは「青春の丘エリア」、「ジブリの大倉庫エリア」、「もののけの里エリア」、「魔女の谷エリア」、「どんど森エリア」の5つのエリアを設け、ジブリ作品の世界を再現するものです。

いよいよ愛知から発信する日本のプロジェクトが本格的にスタートします。「夢だけど夢じゃなかった」と国内外の多くの人に心から喜んでいただける、世界中探してもここにしかない、そうしたジブリパークの実現に向け、スピード感を持って進めてまいります。

常滑の空港島において、国内初となる、国際

空港に直結する国際展示場の建設を、2019年9月の開業を目指し、急ピッチで進めているところであり、この4月には、特別目的会社である愛知国際会議展示場株式会社と運営権実施契約を締結しました。今後は、展示会やイベント等の需要創造に向けた取り組みを積極的に進め、ここ愛知から、日本の新しい展示会産業のスタイルを創出・発信してまいります。

本県では、こうした大規模な事業にしっかりと取り組むことで、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」づくりを進めてまいりたいと考えております。

さて今年6月18日には、大阪府北部を震源とした最大震度6弱の大阪北部地震が発生し、死者5人、負傷者300人以上という大きな被害が再び発生しました。

この地域でも、南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害の発生が危惧されており、災害に対する事前の備えは大変重要です。今後も関係機関と緊密に連携し、県内の防災体制の更なる強化を図ることとしております。

本県は日頃からこうした災害に備えて皆様方と協定を締結し、本県が推進する大規模事業はもちろんのこと、防災対策の面においてもお力添えをいただくこととなっております。また、こうした県の取り組みには、地域に根差し、高い知識や技術力を有する皆様のお力が不可欠であります。

引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



愛知県議会議員

議長 松川 浩明

愛知県建築技術研究会が、このたび記念すべき創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

皆様方におかれましては、昭和43年の設立以来、50年の長きにわたり、建築技術の開発・研究、技術力向上の研鑽に日々励み、本県の住環境の整備に格別のご尽力を賜っており、深く感謝申し上げます。

我が国の建築技術は、時代の要請に応え、幅広い分野でその水準の向上が求められてまいりました。近年では、建築物の安全・安心、品質の確保はもとより、快適な生活空間の確保や地域の景観・環境への配慮など、建築技術の多様化・高度化が一層求められているところであります。

こうした建築ニーズに的確に応えていくためには、長年にわたり培われた豊かな知識や高度な技術を備えた皆様方のお力添えが、何よりも必要でございます。

私ども県議会といたしましても、社会情勢の変化や法改正に適切に対応しつつ、県民誰もが安心して暮らすことができる安全で災害に強い地域づくり、快適で住みよい街づくりに向けて、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

皆様方におかれましては、このたびの創立50周年を機に、より一層の連携を深められ、今後とも豊かな住環境の形成、建築技術の更なる向上に向けて、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛知県建築技術研究会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



自由民主党愛知県議員団

団 長 伊 藤 勝 人

愛知県建築技術研究会が、記念すべき創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

皆様方におかれましては、半世紀の長きにわたり、建築技術に関する調査研究や、豊かな住環境の形成など、より良い地域社会づくりと建築業の経営改善、合理化を通じ社会に大きく貢献していただいておりますことを、心から感謝を申し上げます。

さて、わが国の建築技術は、高い水準を誇っておりますが、これは幅広い分野で様々なニーズに応えながら蓄積されてきたものであります。また、建築物の安心・安全、品質の確保はもとより、地域の景観や環境への配慮なども、より一層求められているところであります。

近年、AIやロボット等が注目されておりますが、建築を担うのは、やはり人であります。昨今、人手不足が待ったなしの課題となっておりますが、地域の更なる発展を支えていくためにも、土木や建築の世界を目指す若い方が増えるよう、取り組まなければならないと感じております。

愛知県の全域に活力がいきわたるようにするのが、県議会議員の役目であり、私ども自由民

主党愛知県議員団も総力を結集し、汗をかき知恵を絞ってまいりたいと考えております。

会員の皆様方におかれましては、建築技術の更なる研究・改善に努めていただくとともに、地域経済の発展と地域住民の生活向上のため、引き続き格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴会の今後ますますのご発展並びに会員の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。



愛知県建設部建築局長

海 田 肇

愛知県建築技術研究会の皆様方には、この度、創立50周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

水野会長始め、愛知県建築技術研究会の皆様方におかれましては、50年の長きにわたり、建築技術の開発や研究などを通して建設業の発展に多大なご貢献をいただいております、深く敬意を表する次第です。

また、水野会長始め、愛知県建築技術研究会の皆様方におかれましては、日頃より本県の建築・住宅行政の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本県では、「日本一元気な愛知」と「すべての人が輝く愛知」の実現を目指し、様々な取り組みをしております。

元気な愛知の基礎となるのは「人づくり」であり、その実現のためには教育の充実が求められ、建設部では、県立の教育施設について良好な教育環境を目指し、整備を進めております。

現在、長久手市にある県立芸術大学について、新デザイン棟の建設工事を、平成30年度竣工を目指して進めているところであります。その他、建築後30年以上経過し、老朽化した豊田工業高校を始めとする県立学校の校舎や設備の改修工事も順次行っております。

また、「人が輝く愛知」の実現のため、県民の皆様様の健康を支える医療・福祉の充実も進めており、医療施設の整備として、春日井市の「愛

知県心身障害者コロニー」の後継となる「医療療育総合センター」の整備を進めており、平成31年には病棟や外来部門、知的障害児の入所支援部門となる本館棟をオープンさせる予定です。

特別支援教育の推進にも取り組んでおります。知的障害特別支援学校の過大化による教室不足に対応するため整備を進めてきた「大府もちのき特別支援学校」が本年4月に開校いたしました。

今後は、「瀬戸つばき特別支援学校」について、平成31年度開校を目指して整備を進めるほか、西尾市内においても、本県初となる知的障害と肢体不自由の児童生徒に対応できる特別支援学校について、まずは基本設計を行い、平成34年度の開校を目指して整備を進めてまいります。

本県では、文化の振興にも力を入れており、全国有数の文化芸術の創造・発信拠点である愛知芸術文化センターについて、美術館や芸術劇場の改修工事を進めております。

また、愛知を代表する朝日遺跡の魅力を発信するため、清洲貝殻山貝塚資料館(仮称)の拡充整備として、新資料館の建設工事に着手したところです。

こうした取り組みを通じてさらなる愛知の発展を実現するためには、行政のみならず建築関係団体を始めとする多くの方々が、相互に連携し協力することが重要であります。

特に長い歴史を持ち、豊かな経験に基づく高度な技術を備えた貴研究会の皆様方には今後ともお力添えをいただきたいと思います。

建技研のあゆみ

〈建築技術研究会 年表〉

〈世 相〉

1992 (平成4年)		
<ul style="list-style-type: none"> 経営合理化勉強会 10月 愛知県建築部技監 近藤俊夫氏 名古屋市市政資料館館長 斎藤 孝氏 陳情 12月 国の十分な財政措置と補助制度の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> アルベールビル冬季五輪開催 2月 東海道新幹線「のぞみ」運転開始 3月 バルセロナ五輪(最後の同時開催) 7月 バブル景気の終焉 8月 公立学校の月1回学校週5日制始まる 9月 天皇陛下の初の中国訪問 10月 	
1993 (平成5年)		
<ul style="list-style-type: none"> 創立25周年記念誌座談会(翠芳園) 1月 創立25周年記念祝賀会(名古屋東急ホテル) 6月 創立25周年記念理事会北海道方面視察 6月 経営合理化勉強会 12月 (株)東海総合研究所副社長兼理事長 水谷研治氏 	<ul style="list-style-type: none"> EU12カ国、単一市場発足 1月 皇太子と小和田雅子さん結婚 5月 細川護熙連立内閣発足 8月 田中角栄元首相の死去 12月 	
1994 (平成6年)		
<ul style="list-style-type: none"> 経営合理化勉強会 11月 ナゴヤフィジカル・フィットネスセンター所長 長谷川メリー氏 カナダ住宅建築事情視察研修旅行(33名) 10月 バンクーバー、カルガリー(9日間) 	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋空港で中華航空機が事故炎上 4月 松本サリン事件 6月 北朝鮮の金日成主席の死去 7月 関西国際空港の開港 9月 大江健三郎氏がノーベル賞受賞 10月 	
1995 (平成7年)		
<ul style="list-style-type: none"> 経営合理化勉強会 11月 愛知県参事 高嶋伸亨氏 理事会視察研修 11月 宮崎シーガイア 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神・淡路大震災 1月 地下鉄サリン事件 3月 東京都知事に青島幸男氏、大阪府知事に横山ノック氏が当選 4月 オウム真理教に解散命令 10月 高速増殖炉「もんじゅ」の事故 12月 	

〈建築技術研究会 年表〉

〈世 相〉

1996 (平成 8 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情 1 月 県工事発注方について ・ 経営合理化勉強会 11月 愛知県建築部長 山中保教氏 当会顧問 愛知県議会議員 倉知俊彦氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将棋の羽生善治名人が史上初の7冠 2月 ・ 病原性大腸菌O-157の大流行 7月 ・ アトランタ五輪開催 7月 ・ ペルー日本大使公邸人質事件発生 12月 		
1997 (平成 9 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会視察研修 3月 福岡市博多キャナルシティ ・ 経営合理化勉強会 11月 愛知県副知事 佐治正之氏 ・ 理事会視察研修 10月 茨城県つくば市 ・ 建設工事現場視察 8月 JR セントラルタワーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税が3%から5%に引き上げ 4月 ・ 神戸連続児童殺傷事件で少年を逮捕 6月 ・ 香港が英国から中国に返還 7月 ・ 北海道拓殖銀行、山一証券破綻 11月 ・ 温暖化防止京都会議で京都議定書採択 12月 		
1998 (平成 10 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 創立 30 周年記念祝賀会 (名古屋国際ホテル) 6月 ・ 経営合理化勉強会 10月 トヨタ自動車(株)常務取締役 渡辺捷昭氏 ・ 理事会視察研修 11月 東京副都心及び首都高速川崎地下ジャンクション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野冬季五輪開催 2月 ・ 明石海峡大橋が開通 4月 ・ 国内総生産GDPが前年度比0.7%減 6月 ・ 和歌山毒物カレー事件 7月 ・ 映画監督 黒澤明が死去 9月 		
1999 (平成 11 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 神田真秋新知事来訪 2月 ・ 経営合理化勉強会 10月 前愛知県知事 鈴木礼二氏 愛知県建築部技監 館本 勲氏 ・ JRセントラルタワーズ現場見学 10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州統一通貨「ユーロ」の導入 1月 ・ 初の脳死による臓器移植 2月 ・ 全日空ハイジャック事件で機長死亡 7月 ・ コンピューターの 2000 年問題 12月 		
2000 (平成 12 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会視察研修 2月 ・ 建設工事現場視察 7月 豊田市スタジアム ・ 経営合理化勉強会 10月 NTTドコモ東海法人営業課 SE 担当部長 木村節生氏 大須演芸場席亭 足立秀夫氏 ・ 会長 鈴木幸穂となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プーチン大統領の当選 3月 ・ 介護保険制度が始まる 4月 ・ シドニー五輪開催 8月 ・ BS デジタル放送開始 12月 		

〈建築技術研究会 年表〉

〈世 相〉

2001 (平成 13 年)			
<ul style="list-style-type: none"> 経営合理化勉強会 10月 愛知県建築部技監 安藤嘉康氏 (株)中谷グランド企画 中谷義昭氏 建設工事現場視察 10月 中部新国際空港現場事務所見学会 		<ul style="list-style-type: none"> 小泉内閣の発足 4月 池田小児童殺傷事件 6月 明石花火大会歩道橋事故 7月 米同時多発テロが発生 9月 野依良治氏がノーベル賞受賞 10月 	
2002 (平成 14 年)			
<ul style="list-style-type: none"> 陳情 9月 県工事発注方について 建設工事現場視察 9月 愛知県厚生連海南病院 経営合理化勉強会 10月 愛知県建設部技監 河合 修氏 (財)2005年日本国際博覧会協会会場整備本部長 椋 周二氏 		<ul style="list-style-type: none"> ソルトレイクシティ冬季五輪開催 2月 学習指導要領改訂、ゆとり教育始まる 4月 日韓共同開催サッカーワールドカップ 5月 北朝鮮から5人の拉致被害者が帰国 10月 小柴氏、田中氏がノーベル賞受賞 12月 	
2003 (平成 15 年)			
<ul style="list-style-type: none"> 中部国際空港建設現場見学会 9月 経営合理化勉強会 11月 愛知県建設部建設総務課課長補佐 松下 靖氏 (財)2005年日本国際博覧会協会会場整備本部長 椋 周二氏 陳情 12月 公共事業の地元優先発注と優先枠の確保について 		<ul style="list-style-type: none"> スペースシャトルコロンビア号大破 2月 アメリカ・イラク戦争開始 3月 日本郵政公社が営業開始 4月 住民基本台帳ネットワーク本格稼働 8月 地上デジタル放送開始 12月 	
2004 (平成 16 年)			
<ul style="list-style-type: none"> 万博会場建設工事現場見学 9月 経営合理化勉強会 11月 愛知県建設部理事 壁谷又嗣氏 (株)エ・ム・ズ代表取締役 秋田稲美氏 		<ul style="list-style-type: none"> 鳥インフルエンザ大流行 1月 アテネ五輪開催 8月 新潟県中越地震 10月 新デザインの紙幣発行 11月 	
2005 (平成 17 年)			
<ul style="list-style-type: none"> 名古屋トヨタビル新築工事現場見学 7月 (労働安全衛生委員会) 愛知県住宅供給公社ビルへ事務室移転 7月 建設業三団体主催講演会「イラクに赴いて思う」 10月 陸上自衛隊一等陸佐 佐藤正久氏 		<ul style="list-style-type: none"> 中部国際空港の開港 2月 「愛・地球博」が開幕 3月～9月 JR 福知山線脱線事故 4月 小泉首相の郵政解散・総選挙 9月 姉齒建築設計事務所の偽装事件 11月 	

〈建築技術研究会 年表〉

〈世 相〉

2006 (平成 18 年)	
<ul style="list-style-type: none"> 経営合理化勉強会 12月 (株)和薬・漢方の本草閣代表取締役 林 譽史朗氏 	<ul style="list-style-type: none"> 三菱東京 UFJ 銀行発足 1月 ライブドア事件で堀江貴文逮捕 1月 トリノ冬季五輪開催 2月 安倍晋三首相の就任 9月
2007 (平成 19 年)	
<ul style="list-style-type: none"> 経営合理化勉強会 11月 花岳寺住職 鈴木悦道氏 愛知県建設部建築指導監 柴田 悟氏 同 建築指導課主査 竹内正宣氏 陳情 12月 中小建設業者の窮状打開に関する要望 	<ul style="list-style-type: none"> 大丸・松坂屋が経営統合 3月 サブプライムローン問題が顕在化 6月 新潟中越沖地震で柏崎刈羽原発事故 7月 月探査衛星「かぐや」打ち上げ 9月 ねんきん特別便開始 12月
2008 (平成 20 年)	
<ul style="list-style-type: none"> 災害時における被災住宅の応急修理に関する協定書の締結 3月 第1回愛知県幹部職員との意見交換会 10月 陳情 11月 危機的状況にある中小建設業者の窮状打開に関する要望 経営合理化勉強会 11月 井坂ヨーガ健康研究所主宰 井坂津矢子氏 愛知県建設部技監 金田 健氏 	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療制度スタート 4月 秋葉原無差別殺傷事件 6月 北京五輪開催 8月 リーマン・ブラザーズの経営破綻 9月 小林氏、益川氏、南部氏の3名がノーベル物理学賞、下村氏が化学賞を受賞 10月 バラク・オバマ氏が米大統領に当選 11月
2009 (平成 21 年)	
<ul style="list-style-type: none"> 陳情 12月 危機的状況にある中小建設業者の窮状打開に関する要望 当研究会規約全面改正 当研究会委員会再編 	<ul style="list-style-type: none"> 河村たかし氏名古屋市長当選 2月 米クライスラー、GMの破産法適用 4月 裁判員制度スタート 5月 衆議院選挙で民主党圧勝、政権交代 8月 オバマ大統領にノーベル平和賞 10月
2010 (平成 22 年)	
<ul style="list-style-type: none"> 陳情 7月 地域の安全・安心を守る地域中小建設業者の危機的状況にある窮状の打開に関する要望 名古屋城本丸御殿復元工事現場見学会 (安全衛生委員会) 10月 	<ul style="list-style-type: none"> 日本航空、会社更生法適用申請 1月 バンクーバー冬季五輪開催 2月 鳩山首相、普天間問題で退陣 6月 鈴木氏、根岸氏がノーベル賞受賞 10月

〈建築技術研究会 年表〉

〈世 相〉

2011 (平成 23 年)		
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の義援金を寄託 3月 「知の拠点」建設施設見学会 (安全衛生委員会) 12月 		<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災、福島原発被災 3月 米軍、オサマ・ビンラディン殺害 5月 サッカー女子W杯で優勝 7月 北朝鮮 金正日総書記死去、正恩氏が後継 12月
2012 (平成 24 年)		
<ul style="list-style-type: none"> 愛知医科大学新病院建設工事現場見学会 (安全衛生委員会) 10月 陳情 11月 危機的状況にある中小建設業者の窮状打開に関する要望 会長 水野恒平となる 		<ul style="list-style-type: none"> 東京スカイツリー開業 5月 ロンドン五輪開催 7月 山中伸弥氏がノーベル賞受賞 10月 衆院選で自民党圧勝、民主党大敗し、第二次安倍内閣が発足 12月
2013 (平成 25 年)		
<ul style="list-style-type: none"> 「尾張地区新設養護学校(仮称)」建設工事現場見学会 (安全衛生委員会) 10月 当研究会ホームページ開設 12月 		<ul style="list-style-type: none"> 安倍首相、TPP 参加を表明 3月 アベノミクスによる景気回復感 6月 富士山が世界文化遺産登録 6月 2020 年東京五輪の開催が決定 9月
2014 (平成 26 年)		
<ul style="list-style-type: none"> 第1回中小建設業建築技術者研修会(CPD 研修) 2月 「安全衛生委員会」を「安全教育研修委員会」に改める 4月 「JP タワー名古屋」建設工事現場見学会 10月 		<ul style="list-style-type: none"> ソチ冬季五輪開催 2月 消費税が5%から8%に増税 4月 御嶽山が7年ぶりに噴火 9月 赤崎氏、天野氏、中村氏の3名がノーベル賞受賞 10月
2015 (平成 27 年)		
<ul style="list-style-type: none"> 「愛知総合工科高校」建設工事現場見学会 10月 		<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線開業 3月 安全保障関連法案が成立 9月 ラグビーW杯で日本3勝 9月 大村氏、梶田氏がノーベル賞受賞 10月 パリで同時多発テロ 11月

〈建築技術研究会 年表〉

〈世 相〉

2016 (平成 28 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時総会後に懇親会を初めて開催 6 月 ・ 熊本地震の被災地に対する災害義援金拠出 8 月 ・ 「初吹住宅」 建設工事現場見学会 11 月 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本地震 4 月 ・ 伊勢志摩サミット開催 5 月 ・ 英、国民投票で EU 離脱 6 月 ・ リオ五輪開催 8 月 ・ トランプ氏が米大統領に当選 11 月 	
2017 (平成 29 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「(仮称)刈谷市歴史博物館」建築工事現場見学会 12 月 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮の核実験とミサイル発射が相次ぐ ・ 金正男氏、マレーシア空港で殺害 2 月 ・ 14 歳棋士、藤井四段が 29 連勝 6 月 ・ 森友、加計学園問題で内閣支持率急落 8 月 ・ 天皇退位特例法成立、2019 年 5 月に改元 12 月 	
2018 (平成 30 年)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 創立 50 周年記念祝賀会 (名鉄ニューグランドホテル) 6 月 ・ 「つちおと」 50 周年記念号発行 7 月 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平昌五輪開催 2 月 ・ 米朝首脳会談 6 月 	

思い出のアルバム



平成4年 第25回定時総会



平成4年 経営合理化勉強会



平成5年 第26回定時総会 河合会長



平成5年 創立25周年記念祝賀会 鈴木知事



平成5年 定時総会 座談会



創立25周年記念特別講演 水谷研治氏



平成6年 第27回定時総会 河合会長



平成6年 経営合理化勉強会

思い出のアルバム

4

思い出のアルバム



平成7年 第28回定時総会 河合会長



平成7年 経営合理化勉強会



平成8年 第29回定時総会 鈴木知事



平成8年 経営合理化勉強会 倉知顧問



平成9年 第30回定時総会



平成9年8月6日 建設工事現場視察
JR セントラルタワーズ見学会



平成9年 経営合理化勉強会

思い出のアルバム



平成10年 第31回定時総会（創立30周年）



平成10年 創立30周年記念祝賀会



平成10年 経営合理化勉強会

平成10年11月4日 理事会視察研修
首都高速川崎地下ジャンクション平成11年 経営合理化勉強会
前愛知県知事 鈴木礼二氏

平成11年 第32回定時総会 神田知事

平成11年10月 JRセントラルタワーズ
現場見学会

思い出のアルバム



平成12年 第33回定時総会 鈴木新会長



平成12年 前河合会長への感謝状



平成12年 豊田市スタジアム建設工事視察会



平成12年 経営合理化勉強会



平成13年10月 経営合理化勉強会



平成13年 中部国際空港現場視察会



平成14年6月13日 第35回定時総会



平成14年10月30日 経営合理化勉強会

思い出のアルバム



平成 15 年 6 月 12 日 第 36 回定時総会



平成 15 年 11 月 28 日 経営合理化勉強会



平成 16 年 6 月 21 日 第 37 回定時総会



平成 16 年 11 月 17 日 経営合理化勉強会



平成 17 年 5 月 31 日 第 38 回定時総会



平成 17 年 10 月 21 日 建設業三団体主催講演会



平成 18 年 6 月 2 日 第 39 回定時総会



平成 18 年 12 月 13 日 経営合理化勉強会

思い出のアルバム



平成 19 年 6 月 13 日 第 40 回定時総会



平成 19 年 11 月 15 日 経営合理化勉強会



平成 20 年 6 月 3 日 第 41 回定時総会



平成 20 年 10 月 30 日 第 1 回県との意見交換会



平成 20 年 11 月 26 日 経営合理化勉強会



平成 21 年 6 月 3 日 第 42 回定時総会



平成 21 年 4 月 9 日 第 1 回役員ゴルフ大会



平成 21 年 8 月 6 日 県との意見交換会

思い出のアルバム



平成 22 年 6 月 3 日 第 43 回定時総会



平成 22 年 7 月 22 日 県への要望活動



平成 22 年 9 月 28 日 役員ゴルフ大会



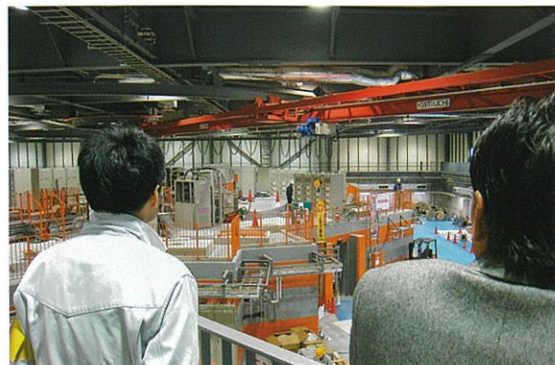
平成 22 年 10 月 名古屋城本丸御殿見学会



平成 23 年 3 月 29 日 東日本大震災義援金寄託



平成 23 年 10 月 建築工事単価資料の作成



平成 23 年 12 月 15 日 知の拠点現場見学会



平成 23 年 12 月 12 日 県との意見交換会

思い出のアルバム

4

思い出のアルバム



平成 24 年 6 月 第 45 回定時総会 会長交代



平成 24 年 鈴木前会長への感謝状



平成 24 年 11 月 15 日 愛知県知事への要望



平成 24 年 10 月 愛知医大新病院現場見学会



平成 25 年 6 月 6 日 第 46 回定時総会



平成 25 年 10 月 尾張地区新設養護学校見学会



平成 25 年 12 月 17 日 県との意見交換会



平成 25 年 12 月 1 日
愛知県建築技術研究会ホームページ開設

思い出のアルバム



平成 26 年 2 月 5 日 第 1 回 CPD 研修会



平成 26 年 6 月 第 47 回 定時総会 局長講演



平成 26 年 10 月 14 日 JP タワー現場見学会



平成 26 年 10 月 22 日 第 2 回 CPD 研修会



平成 27 年 6 月 9 日 第 48 回 定時総会



平成 27 年 7 月 2 日 CPD 研修会 松野 薫氏



平成 27 年 10 月 愛知総合工科高校見学会



平成 27 年 12 月 15 日 県との意見交換会

思い出のアルバム

4

思い出のアルバム



平成 28 年 6 月 第 49 回定時総会 水野会長



平成 28 年 6 月 第 49 回定時総会 懇親会



平成 28 年 6 月 第 49 回定時総会 懇親会



平成 28 年 8 月 2 日 熊本地震義援金 寄託



平成 28 年 11 月 17 日 初吹住宅工事見学会



平成 28 年 11 月 17 日 初吹住宅工事見学会



平成 28 年 12 月 15 日 県との意見交換会



平成 28 年 12 月 15 日 県との意見交換会

思い出のアルバム



平成 29 年 6 月 8 日 第 50 回定時総会



平成 29 年 6 月 第 50 回定時総会 大村知事



平成 29 年 7 月 4 日 第 5 回 CPD 研修



平成 29 年 9 月 施工管理技術検定試験講習会



平成 29 年 12 月 刈谷市歴史博物館現場見学



平成 29 年 12 月 刈谷市歴史博物館現場見学



平成 29 年 12 月 15 日 県との意見交換会



平成 29 年 12 月 15 日 県との意見交換会

5

第51回定時総会



会場風景

総会の概要

去る6月6日(水)に、名古屋駅太閤通口の名鉄ニューグランドホテル7階樁の間にて、第51回定時総会が開催されました。総会に先立って、午後3時45分より理事会が開催され、当日の進行や内容の確認がなされました。

続いて、午後4時15分より定時総会が榊原副会長の総合司会で始まり、水野会長は挨拶の中で、昨年7月の台風3号と梅雨前線による九州北部豪雨の例を挙げて、愛知県との災害時における被災住宅の応急修理に関する協定締結に触れ、いざという時には地元住民の安心・安全の確保に貢献していきたいと述べました。

その後は水野会長が議長となり、事務局から第1号議案の説明、鈴木会計から第2号議案の説明と、清水監事から監査報告がありました。次に、再び事務局から第3号議案、鈴木会計から第4号議案についての説明があり、報告事項1の役員の改選報告として、豊田支部長の三濃建設(株)稲垣信之氏の紹介がありました。また、報告事項2で新入会員6社のうちご出席の5社の紹介と退会会員5社の報告があり、各議案とも満場一致で可決され、定時総会は閉会しました。

第51回 定時総会

5

第51回定時総会・創立50周年記念祝賀会



会長の冒頭挨拶



榊原副会長の総合司会



川崎副会長の開会宣言



鈴木会計理事による収支決算報告



役員の方々と石川事務局長



清水監事の監査報告



新入会員の皆さん



盛況な会場

5

創立 50 周年記念祝賀会

来賓出席者名簿

愛知県副知事	石原君雄様	愛知県議会議長	松川浩明様
愛知県建設部建築局長	海田肇様	愛知県議会副議長	鈴木喜博様
愛知県建設部建築局次長	筒井薫生様	自由民主党愛知県議員団団長	伊藤勝人様
愛知県建設部技監	砂原和幸様	同 副団長	杉浦孝成様
同 建築局公営住宅課長	久野明様	同 副団長	安藤正明様
同 建築局公共建築課長	金田高幸様	同 幹事長	坂田憲治様
愛知県住宅供給公社理事長	伊藤輝明様	同 総務会長	青山省三様
同 専務理事	内田光一様	同 政調会長	渡辺昇様
同 事務局長	竹内鉄治様	愛知県議会建設委員会委員長	中根義高様
愛知県建築技術研究会顧問	倉知俊彦様	(一社)愛知県建設業協会専務理事	大西克義様
(一社)愛知県土木研究会会長	朝日啓夫様	(一財)愛知県建築住宅センター理事長	祖父江隆弘様
愛知県舗装技術研究会会長	大矢伸明様	(公社)愛知建築士会会長	廣瀬高保様
(株)建通新聞社中部支社長	品川明臣様	東日本建設業保証(株)取締役	小泉康様

会長挨拶



愛知県建築技術研究会会長
水野恒平

本日は公務ご多忙の中、ご来場の皆様には創立50周年記念祝賀会にご光来賜り誠に有り難うございます。

さて、創立25周年記念の記念誌に目を通してみますと、当時昭和43年の創立1年前に、東三支部、西三支部、豊田支部、特に倉知俊彦顧問のお取り計らいで、当時の桑原幹根知事、村田敬二郎建築部長を巻き込んで、この愛知県建築技術研究会が大変な熱意と情熱を掛け創立されたことが拝察されます。

その後この会は幾多の試練を乗り越え、多いときは会員数400社、県からの会員受注額は400億円を超える時代を経て、現在では会員数222社、会員受注額は100億円を大きく割り込む大変厳しい時代になっておりますが、建築技術研修会の開催、愛知県への陳情並びに意見交換会等、様々な事業を展開し、会員の建築技術向上と建設業界の経済環境向上を図っております。今後も県内地域社会に貢献して参る所存でございますので、皆様のご支援ご協力を宜しくお願いを申し上げ、ご挨拶に替えさせていただきます。

副知事祝辞

日頃より愛知県の建築住宅行政の推進にご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、愛知県では2027年にリニアが開通し、東京と名古屋の間で5千万人の交流圏ができると言われており、その中で、愛知県が存在感のある地域となることを目指して、名古屋駅のスーパーターミナル化、常滑空港島の大規模国際展示場開発、万博公園跡地のジブリパーク構想、2026年のアジア競技大会の開催等、大規模なプロジェクトを成功させ、地域の経済活性化、国内外から多くの方々に訪れて頂ける地域を目指しています。建築に携わっておられる皆様には、高い技術力を大いに発揮して頂きたいと思っております。

また、愛知県は南海トラフの巨大地震発生が危惧され、防災対策は喫緊の課題です。災害時の住宅復旧について協定を結び、被災住宅の補修にご協力を頂ける体制が整っており、大変心強く思います。

今後とも、皆様と一緒にこの愛知の発展、飛躍に向けて取り組んで参りたいと存じますので、今後のますますのご発展とお集まりの皆様方のご健勝、ご多幸、ご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



愛知県副知事
石原君雄

議長祝辞

県議会を代表致しまして一言ご挨拶をしたいと存じます。さて、我が国の建築技術は時代の要請に応え、幅広い分野でその水準の向上が求められて参りました。近年では建築物の安全・安心、品質の確保は元より、地域の景観や環境への配慮など、建築技術の多様化、高度化が一層求められているところであります。こうした要請に的確に応えていくためには、長年に亘り培われた豊かな知識や高度な技術を備えた、皆様方のお力添えが何よりも必要と考えております。

どうか皆様方に於かれましては、この機により一層の連携を深められ、今後とも豊かな住環境の形成、建築技術のさらなる向上に向けて引き続きご尽力を賜われますよう、心からお願いを申し上げます。



愛知県議会議長

松川 浩明

団長祝辞



自民党愛知県議団団長

伊藤 勝人

建築技術研究会の50周年に心からお祝いを申し上げます。

明治維新から太平洋戦争まで、日本はとにかく強くなろうとし、それ以降今日までは、豊かになろうとして実際豊かになってきました。さて、今後の日本はというと、私は楽しい国になっていくだろうと思っています。現状、人口がどんどん減って縮小社会になっていきますが、それにどう歯止めを掛けるのか。国も地域も町も楽しい所にしていかないと、東京に吸い取られてしまいます。

そんな中で、世界で万博公園にしかないジブリは楽しいじゃないですか。ジブリの絵1枚から世界観を設計し、立体化していくのは本当に大変だと思いますが、そういう工夫が至る所で出て来るように、皆さんにも自分達で手掛けていくのだという気概を持って頂きたいと思います。

局長祝辞

愛知県建築技術研究会の創立50周年祝賀会のご開催、誠にありがとうございます。水野会長始め、会員の皆様方は半世紀の長きに亘りまして、建築技術の調査、研究を通じて多大な社会貢献をされており、本当に頭の下がる思いです。

また、県の建築工事の推進に当たりまして、大変なご協力を頂いております。例えば、長久手市の県芸大新デザイン棟の建設、豊田工業高校の改修工事、その他にも県有施設の整備、改築、また県営住宅の建て替え事業や長寿命化改善事業につきましても大変お世話になっております。これからも、会員の皆様方には引き続きご支援、ご協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。



愛知県建設部建築局長

海田 肇

記念祝賀会

5

第51回定時総会・創立50周年記念祝賀会



倉知顧問による乾杯



祝賀会司会進行の高柳副会長



来賓をご紹介する伊藤副会長





川崎副会長の
一本締め



JAZZ バンド
JUNKO &
平光広太郎
トリオ



一宮支部だより

〈支部の紹介〉

昭和43年発足、現在の会員数30社。

一宮支部の管轄区域は、一宮市・稲沢市・岩倉市・江南市・犬山市・丹羽郡となっています。

〈支部の活動内容〉

本部の活動のほかに支部として主に次のような活動をしています。

年次総会・地元県議会議員との懇親会を毎年開催しています。また、二年に一度研修旅行を行い、会員相互の融和と親睦を深めております。



通常総会・懇親会



研修旅行(マカオ)

〈今後への抱負〉

提案できる団体・魅力ある建築業界というものを目標として、会員が一つになって築いていかななくてはならないと思っております。

〈沿革〉

・直近25年のあゆみ

平成4年4月から平成18年3月まで中村進支部長、平成18年4月から現在の榊原讓支部長に代わり現在に至る。

平成12年以降の研修旅行は以下のとおり

平成12年11月	研修旅行(淡路島)
平成13年11月	研修旅行(和倉温泉)
平成15年11月	研修旅行(京都・大阪)
平成17年11月	研修旅行(札幌・小樽)
平成19年11月	研修旅行(鹿児島)
平成21年7月	研修旅行(宇奈月温泉)
平成23年10月	研修旅行(有馬温泉)
平成25年9月	研修旅行(京都方面)
平成27年11月	研修旅行(マカオ)
平成29年11月	研修旅行(韓国)
平成30年4月	50周年記念式典

〈役員紹介〉

支部長	榊原建設(株)	榊原讓
常任理事	榊原建設(株)	榊原讓
〃	(株)中村工業	中村武弘
理事	松岡建設(株)	松岡一成
〃	(株)吉田組	吉田達弘
〃	中野建設(株)	小野正之
評議員	美吉建設(株)	吉川貴祥
〃	加茂建設(株)	森真
支部監事	澄川建設(株)	澄川隆昭
〃	(株)丹羽工務店	丹羽規之

〈一宮支部の主な施工物件〉



松竹住宅



尾張地区新設養護学校



県立起工業高校



高御堂住宅



50周年記念式典・祝賀会

西三支部だより

〈沿革〉

時の流れも早いもので、当愛知県建築技術研究会西三支部も、発足して50周年を迎える事になりました。

昭和43年発足時には会員59社、その後堅実に会員の増加をたどり、25周年時には86社という最多の支部に至った事もありました。

その後、色々な社会情勢の荒波にもまれながら、51期西三支部総会の会員は48社となりました。

現在は、支部下に、岡崎・西尾・刈谷・碧南・安城と5つの分会を設け、活動しております。

今後も、この環境の変化に対応をしていく所存でありますと共に、各委員会活動にも、積極的に参加していきたいと思っております。

〈直近の県受注件数と西三支部会員の受注高〉

年 度	件 数	受注額 (千円)
H21	14	1,168,926
H22	5	361,110
H23	2	776,996
H24	9	640,619
H25	11	2,257,640
H26	17	2,606,380
H27	12	1,326,100
H28	7	391,648

〈西三支部定時総会〉

今年の定時総会は、4月12日(水)13:30より刈谷商工会議所において開催されました。

メインテーマである役員改選については、役員会にて協議し、総会で諮りましたところ、もう1期2年、現在の体制で継続するという意見でまとまり、全会一致で決議されました。



鈴木文三郎西三支部長

新役員は下記のとおりです。

〈役員紹介〉

支 部 長	角 文 (株)	鈴木文三郎
会 計	白半建設(株)	加藤大志朗
監 事	(株)中根組	田中 徳秋
常任理事	小原建設(株)	小原 睦
〃	山旺建設(株)	山崎 秀夫
〃	親和建設(株)	新美 真司
理 事	まるひ建設(株)	本多 淳
〃	白竹建設(株)	亀山 裕一
〃	丸ヨ建設工業(株)	蒲野 功樹
〃	(株)丸山組	丸山 祥子
評 議 員	太田建設(株)	加藤 卓司

〈フォトアルバム〉



小島住宅建築工事（第2工区）



愛知県立岩津高等学校建築工事



上和田住宅建築工事（第1工区）



岡崎商業高等学校校舎建築工事

知多支部だより

〈はじめに〉

知多半島は、南北 40 km、東西は最大で 14 km の細長い半島で、面積は 392.2 km²です。気候は、比較的温暖な地域となっています。

産業は、ミカンやブドウなどの果樹栽培を始め農業も各地で盛んで、南部では、沿岸漁業やノリ養殖などを中心とした漁業も主要産業の一つとなっています。工業は、中部北部では、重化学工業や自動車関連の企業が立地している他、清酒や味噌醤油といった伝統的な醸造業も盛んであります。

2005 年には、常滑市沖に中部国際空港が開港し、知多半島は、東海地方の海外に向けた空の玄関となっています。

〈知多支部〉

知多支部は、知多半島の 5 市 5 町(半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、美浜町、南知多町、武豊町)に所在する建設業者で構成され、現在支部会員数は 19 社です。

支部の活動は、隔年開催の総会のほか、各員会を適宜開催しております。

また、近年は、隔年で研修旅行を実施して、会員の研鑽と親睦を図っています。

かつては、30 社以上あった会員も漸減し、数年前には 17 社にまで減少しましたが、近年 2 社の新規加入員を迎えることができました。

今後、一層の会員数の増強を図るとともに、支部活動をさらに活性化させ、活力ある地域づくりに貢献してまいりたいと考えています。

〈沿 革〉

平成 6 年～ 総会を隔年で開催しています。役員会についても毎年適宜開催し、支部の円滑な運営を図っています。

- 支部エリアでの代表的な施工実績紹介
次ページの写真をご覧ください。

- 視察、研修旅行等のトピックス

平成 27 年 研修旅行(出雲方面)

出雲大社において、遷宮の際の伝統の匠の業を目の当たりにすることができました。また、境港市の水木しげるロードを見学し、街づくりの参考としました。

平成 29 年 研修旅行(東京方面)

環境省において、地球温暖化対策の取組みについてお話を伺いました。また、東京スカイツリーでは、その高さで現代の建築技術の高さに感心しました。

〈役員紹介〉

支 部 長	(株)石橋組	石橋 克泰
副 支 部 長	(株)愛知工務店	早川 建志
会 計	八洲建設(株)	水野 貴之
理 事(監事)	(株)大清工務店	近藤 勝美
理 事	岩部建設(株)	岩部 雅人
〃	(株)東海エコ	杉江久三郎
〃	東浦土建(株)	長坂 勝之

〈フォトアルバム〉



清水住宅建築工事



武豊高校校舎等改修工事



研修旅行（出雲大社）



研修旅行（環境省）



研修旅行（東京スカイツリー）

津島支部だより

〈はじめに〉

津島支部は、名古屋市、三重県に挟まれた場所に位置し、津島市を中心とした4市3町村に所在する建築会社(現在会員数19社)で活動をさせていただいております。

本地域は、歴史、伝統、文化に根付いた地域であり、建造物として歴史ある津島神社や天王祭、須成祭などの祭りも盛んであり、また七宝焼きなど伝統工芸もごぞいます。また昨今では航空宇宙産業でも全国的に重要な拠点になっております。海拔0メートル以下の地域には水郷地帯が広がり、昭和34年の伊勢湾台風の水害では、多大な被害があった地域でもあります。

〈支部のあゆみと建築の未来〉

建築を主体とした当研究会は、発足の際に東三、西三地区に旗揚げされ、名古屋を経て海部、一宮へと呼び掛けがあり、当地域も伊藤工務店伊藤幸一社長を中心に数社が再三の会合の上、参加加入をお願いし、その後も度重なる協議をおこない、14社の入会を経て津島支部が結成されました。昭和43年6月10日地元発足第一回総会を開催して、会員14社で支部長・伊藤工務店、本部理事・河村産業所、本部監事・佐藤工務店、評議員・大栄建設、大藤建設の役員のもとに愛知県建築技術研究会への参加をしました。こうして昭和43年8月1日の設立総会は、愛知県土木会館にて愛知県知事、建築部長をお迎えして、県下の建設業界の方々と一緒に会し、盛大に開催されました。

50年前の总会発足当時の建築業界を回帰しますと、海部事務所や市町村の庁舎を始め、高校も木造から鉄筋コンクリート造へと建て替えられていました。外部大手業者の施工がほとんどで、地元業者では競争し、受注するには技術

力の向上や業界の団結力が必要でした。また近年も、平成11年以降の人口減少、少子高齢化等の社会経済情勢の変化や地方分権の担い手となる基礎自治体にふさわしい行財政基盤の確立を目的とした平成の合併による増・改築工事を中心として、様々な建設事業が進められてきました。

しかし昨今では時期が過ぎ、中型、大型物件は減る一方で受注競争激化が進んでおり、一層の業者の技術力の向上とともに本会会員の結束力が必要不可欠であると考えます。

我が国日本は、昭和48年までの高度経済成長期、平成3年までの安定成長期、バブル経済の後、バブル経済の崩壊、平成20年リーマンショックを経て現在に至っており、高度成長時代のひずみも現れ、いまだ建設業界も低成長下に苦しい時期が続いております。しかし、働き方改革、合理化を積極的に推進してこの低迷期を乗り切り、国土開発・整備、産業構造の変貌、情報化、グローバル化の進展など、大手企業だけでなく我々もまた、大きな社会変化に対応することをおこなっていかなければなりません。

また、日本古来の四季折々の日本建築の豊かな表現や海部地域の気候特性に対して、地域の材料を探し再利用できる形まで考え、自然をうまく取り込み、エコロジーやバリアフリーといった言葉と匠の技を新しい技術に融合させて、次代に向けた建築を目指さなければなりません。

本年は50周年を迎え、礎を築いてこられた先代に対して深く感謝を申し上げるとともに、今後50年を見据えた業界を作り上げるべく邁進してまいりたいと考えております。

〈沿革〉

- 津島支部 歴代会長
 昭和43年 (資)伊藤工務店 伊藤 幸一
 昭和53年 (株)ミタニ建設 三谷 明夫
 平成4年 (株)佐藤工務店 佐藤佐太郎
 平成10年 住田建設(株) 住田 由純
 平成20年 大栄建設(株) 川崎 鉦明
- 表彰関係(人物、団体、建築物等)
 大臣表彰
 平成4年 (株)ミタニ建設 三谷 明夫
 平成15年 住田建設(株) 住田 由純
 平成22年 大栄建設(株) 川崎 鉦明

• 視察、研修旅行等のトピックス

平成28年2月6日台湾南部で発生した地震被害の視察、研修旅行にて台湾へ



〈役員紹介〉

- | | | |
|------|-----------|-------|
| 支部長 | 大栄建設(株) | 川崎 鉦明 |
| 副支部長 | (株)河村産業所 | 河村 昭利 |
| 会計 | (株)佐藤工務店 | 佐藤 誠 |
| 役員 | (株)ミタニ建設 | 三谷 栄一 |
| 〃 | 大藤建設(株) | 河原 達政 |
| 〃 | サシヨシ工業(株) | 加藤 智也 |

〈フォトアルバム〉



県立精神薄弱者更生施設建設工事



県立海翔高校校舎等建設工事



愛宕住宅建築工事 (第2工区)



研修写真 平成8年 鶴戸神宮

東三支部だより

〈支部の紹介〉

東三支部は、東三河地方の豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡の5市1郡内の建設業者によって構成され、創立当時は54社でスタートしましたが、入退会を重ね、現在の33社になりました。創立は本部と同じ昭和43年で、平成29年4月に第50回目の定時総会を開催いたしました。事務所の所在地は、豊橋市新栄町字東小向57番地、東三建設業協会の事務所内にあります。

〈活動内容〉

支部の活動は、本部と同調して行っています。その中で支部独自に、平成24年と26年に会員の親睦を兼ねた研修視察旅行を行いました。

平成24年は、静岡県御前崎市にある中部電力浜岡原子力発電所の地震・津波対策用防波壁（海拔18m、総延長1.6km）を見学しました。これは東日本大震災の津波で福島第一原子力発電所が被害を受けたことによる津波対策で行っているもので、非常にスケールの大きな防波壁でした。

平成26年は、豊川市域に施工中の新東名高速道路の現場を視察しました。①上長山土工部現場、②トンネル内舗装工事現場、③佐奈川橋工事現場を見学しました。中でも佐奈川橋は規模が大きく、構造形式は橋長約700m、最大スパン142m、新東名路線で最大となる橋脚89mを有するPRC6径間連続ラーメン箱桁橋で、橋脚の長さ89mは国内の橋梁の中でも4番目の長さになる橋です。橋を下から見上げるといかに長い橋脚であるかがわかります。当地域を日本の大動脈が横断することに非常に感動しました。

東三支部では、今後も会員の親睦を兼ねた視察旅行を計画していきたいと考えております。

〈災害への備え〉

• BCP（事業継続計画）の必要性

地域建設業の役割は、地域住民が豊かに生活するための社会資本を整備することに加え、災害が発生した場合にいち早く現場に駆け付け、迅速に復旧活動を行うことです。

平成23年に発生した東日本大震災において、地域建設業は地震発生直後から、瓦礫の処理、インフラの応急復旧、家屋の修繕等、地域住民の生命や財産を守るために活動したと聞いております。しかし、通信の遮断、長引く停電、重機や燃料の不足等、数々の想定外の事態に直面し、作業が思うように進まないこともあったようです。こうした事態に対応するためにも、災害時における事業継続を目的としたBCP（事業継続計画）の必要性が高まっています。今後支部においても啓蒙活動に励んでいきたいと考えております。

〈役員紹介〉

平成30・31年度支部役員

支部長	松井建拓(株)	加藤 栄志
理事	青山建設(株)	青山 泰三
〃	(株)オノコム	小野 達朗
〃	(株)豊田組	豊田 勝巳
〃	豊橋建設工業(株)	河合 正純
〃	(株)花田工務店	花田 邦司
〃	藤城建設(株)	藤城 匡昭
〃	三河土建(株)	山本 竜也
〃	八木建設(株)	八木 基之
〃	(株)山正工務店	河合 祐希
〃	(株)波多野組	秋元 正守
〃	(株)酒伊組	酒井 一則
監事	藤建設(株)	藤城 隆雄
〃	神野建設(株)	平野 治

〈フォトアルバム〉

平成 24 年 浜岡原子力発電所の現場視察研修



(浜岡原子力発電所の防波壁建設現場)



(浜岡原子力館にて)



(原子力館内 防波壁の構造模型)

平成 26 年 新東名高速道路の現場視察研修



(新東名のトンネル内現場)



(新東名高速道路の工事現場にて)



(国内で4番目に橋脚が長い佐奈川橋)

豊田支部だより

〈はじめに〉

愛知県のほぼ中央に位置する豊田支部は、2005年、平成の大合併により旧豊田市に6町村が編入し、人口は、36万人から42万人に増加し、面積も3倍以上に拡大し、愛知県全体のおよそ20%を占める愛知県最大の面積を誇る都市になりました。全国有数の「クルマのまち」として知られ、世界をリードするものづくり中核都市としての顔を持つ一方、市域のおよそ7割を占める豊かな森林、市域を貫く矢作川、季節の野菜や果物を実らせる田園が広がる恵み多き緑のまちであります。

また、徳川家康ゆかりの松平東照宮、かつて「塩の道」として栄えた飯田街道の宿場町であった足助町の重要伝統的建造物保存地区や香嵐溪のもみじ、小原の四季桜は全国的にも有名な観光スポットとして親しまれています。

それぞれの地域の持つ特性を生かし、多様なライフスタイルを選択できる先進都市として更なる成長を目指す豊田市の安全で安心な市民生活の基盤である社会資本の整備、また、地域に根付いた建設業者としての役割を果たすべく、愛知県建築技術研究会豊田支部は、今後とも積極的な活動を展開してまいります。

〈活動内容〉

- 毎年、国会議員、県会議員、市会議員との意見交換会・会員同士の意見交換会を開催
- 講習会・研修会の開催
平成11年3月 経営審査アップセミナー

- 平成14年10月 中部国際空港海上視察見学会
- 5月 パークアリーナ小牧・セラミックパークMINO見学会
- 平成17年9月 石綿が使用されている建築物等の解体等の特別教育講習会
- 平成18年7月 電子納品説明会
- 9月 豊田市産業廃棄物に係る新条例説明会
- 平成19年3月 薬師寺視察見学会(1泊2日)
- 平成20年2月 愛知県庁本庁舎耐震改修工事視察見学会
- 平成23年11月 浜岡原子力発電所視察見学会
- 平成26年12月 名古屋城本丸御殿・伊勢神宮見学会(1泊2日)
- 平成29年2月 金沢市・鈴木大拙館、21世紀美術館、こまつの杜視察見学会(1泊2日)

〈直近25年のあゆみ〉

・歴代支部長

平成5年度～平成11年度	太啓建設(株)	鈴木 幸穂
平成12年度～平成17年度	岩田建設(株)	岩田 静
平成18年度～平成24年度	伊藤建設(株)	伊藤 慎一
平成25年度～平成29年度	水嶋建設(株)	水嶋 淳

〈役員紹介〉

支部長	三濃建設(株)	稲垣 信之
副支部長	太啓建設(株)	大矢 申明
理事	白武(株)	甲村 武文
理事	水嶋建設(株)	水嶋 淳
〃	ホマレ建設工業(株)	鈴木 基之
〃	野澤建設(株)	野澤 雄二
〃	松山建設工業(株)	山田 晃久
監事	伊藤建設(株)	伊藤 慎一
〃	猿投建設工業(株)	田口 之朗



平成 29 年 2 月 金沢視察見学会 鈴木大拙館

〈フォトアルバム〉



平成 19 年 3 月 薬師寺視察見学会



同 金沢視察見学会 こまつのだ



平成 20 年 2 月 愛知県庁耐震工事視察見学会



同 金沢視察見学会 兼六園



平成 23 年 11 月 浜岡原子力発電所視察見学会

名古屋支部だより

〈支部のあゆみ〉

建築技術研究会名古屋支部は、さかのぼること50年前に当時の名古屋の業界の屋台骨を担いでみえた(株)石田組 石田錠太郎氏、栄興建設(株) 滝川栄亮氏、水野建設(株) 水野太賀氏、六合建設(株) 柴田信太郎氏、村武建築(株) 村瀬照男氏といった方々が音頭をとられ、初代支部長に柴田信太郎氏を立てて発足しました。

そして、当時から行われてきました支部総会、役員会、会員交流会、ゴルフコンペ、研修会等々を踏襲しながら現在に至っております。

〈活動内容紹介〉

支部の活動として、平成28年度は会員交流会で、「インフラの品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保について」というテーマのもと、愛知県建設部建設企画課課長補佐の菅沼氏及び主任の西尾氏の両名をお招きし、講演及びグループディスカッションを開催しました。

また、平成29年度は「建設業『魅力ある職場作り』の実現による若年労働者の確保・定着」というテーマのもと、名古屋中公共職業安定所統括職業指導官の松下氏及び(株)労働調査会の野田氏の両名をお招きし、ご講演いただきました。

更には、支部会員相互の交流を図り見識を深める目的で、平成28年10月16日、17日の一泊二日の研修旅行を企画し、総勢16名で武田信玄ゆかりの地である武田神社を参拝し、山梨県立リニア見学センターにて超電導リニアやリニア中央新幹線の実物大模型や各種展示物を見学し、翌日にはマルス山梨ワイナリーにて休憩の後、世界遺産富士山の構成資産の一部として認定されている「忍野八海」を散策してまいりました。

平成29年は、当初秋に開催予定であった支部

研修旅行があいにく台風の接近に見舞われ、多くの支部会員が愛知県との間に「災害時における被災住宅の応急修理に関する協定書」を結んでいることもあり、急きょ延期をして、平成30年3月18日、19日の一泊二日にて総勢16名で日頃の疲れを癒しに下呂温泉へ行き、翌日は郡上八幡の古い街並みを散策してまいりました。

〈今後の抱負〉

全国的には2020年の東京オリンピック、東日本大震災以降の復興支援事業、そして当地区では2026年アジア競技大会、2027年のリニア中央新幹線の開通と建設事業の需要が見えているなか、深刻になりつつある技術者、技能者の不足に対して事業承継とともに人材の確保について取り組んでいくつもりです。

また、愛知県の行政に対して会員企業が広く受注機会を得られるよう、今後も意見交換会を通して陳情していくつもりです。

〈歴代支部長〉

初代	六合建設(株)	柴田信太郎
2代	栄興建設(株)	瀧川 栄亮
3代	(株)石田組	石田錠太郎
4代	(株)石田組	吉水 宏道
5代	栄興建設(株)	瀧川 和夫
6代	村武建築(株)	村瀬 勤爾
7代	(株)水野工務店	水野 恒平
8代	八神建築(株)	八神 威雄
9代	イリヤ建設(株)	入谷 宏典

〈役員紹介〉 平成 30 年 3 月末現在

支部役員		
常任理事(支部長)	イリヤ建設(株)	入谷宏典
〃	(株)水野工務店	水野恒平
〃	八神建築(株)	八神威雄
〃	(株)日東建設	柏木博喜
理 事	大井建設(株)	亀井 茂
〃	(株)石田組	石田佑嗣
〃	(株)長瀬組	長瀬史典
〃	(会 計) 春田建設(株)	春田直人
評 議 員	(株)服部工務店	榊原正章
〃	(株)杉本組	杉本高男
〃	(株)清水工務店	清水一郎
監 事	水野建設(株)	野沢 均
〃	(株)北川組	北川隆志



あいち産業科学技術総合センター



豊田警察署

〈フォトアルバム〉



リニア館見学



忍野八海



平成 28 年交流会



平成 29 年交流会

名古屋北支部だより

〈支部の紹介〉

名古屋北支部は、名古屋市に隣接する北名古屋市、春日井市、小牧市、瀬戸市、尾張旭市、長久手市、日進市、豊明市、豊山町、東郷町のエリアで構成される支部です。

支部の会員数は、愛知県の大型開発事業の桃花台ニュータウン(小牧市)と菱野台団地はじめ3団地(瀬戸市)の着手に伴い増加、平成9年度には最大会員数36社になりました。その後大型開発事業も終わり、建設業界の環境も大きく変動したため、現在は20社となっています。

当支部エリアでは近年は、県営住宅建替事業、県立高校改修事業が順次進められてきました。県営住宅建替事業では、神領住宅(春日井市)、岩崎住宅(小牧市)、西春住宅(北名古屋市)、原山台住宅(瀬戸市)。県立高校改修事業では、改修対象高校計17校の耐震改修及び内部改修の整備を進めてきました。

今後も県発注の工事を施工するに際して、会員皆が安全に、かつ品質向上を目指して、技術力のスキルアップに努めてまいります。

〈活動内容〉

当支部では活動として、研修会や会員懇親会を随時行っています。最近では、大阪市の超高層ビル「あべのハルカス」の竣工に伴い、平成26年9月に大阪・京都を視察しました。

あべのハルカスの建築規模は地上60階・地下5階建て、延床面積21万2,000㎡。2017年現在、高さ300mの日本一高い高層ビルは、施工したゼネコンの所長が「日本一難しい現場」と言わしめるほどの建物だったとのこと。道路・鉄道が複雑に入り混じる交通の結節点で百貨店の東館を営業しながら、敷地一杯に建てられた立体的に複雑な構造の超高層ビルを目の当たりにして、

その建築技術の底力を皆で感じました。

一方、京都では「龍安寺・方丈庭園」を拝観。龍安寺は、臨済宗妙心寺派の仏教寺院で、石庭(枯山水庭園)が有名です。幅30m、奥行10mの長方形の地に白砂を敷き詰めて箒(ほうき)で線をつけ、15個の石を5箇所に配置しただけの簡素な石庭ですが、独創的で、禅の境地を思わせるそのたたずまいに皆、しばし時を忘れました。また石庭以外に広間の襖絵、茶室蔵六庵、仏殿などを特別に拝観することができました。このように新旧の建造物を取り混ぜての視察は、大変有意義と好評です。

会員懇親会は、漁解禁の声を聞いて北陸越前かにツアーを行なっています。かにを食べるときは沈黙となると言われますが、よく食べ、よく飲み、よく笑いながら意見交換を重ねて親睦をはかっています。

〈今後の取り組み〉

当支部の現会員数は20社。今後10年以内に30社を目標に会員拡大を目指します。加入してメリットのある支部にすべく会員研修会を開催し、各方面からの講師を招いて講演会を実施します。また会員の工事担当者らで意見交換会などを実施し、一般競争入札・総合評価方式における技術提案を高評価にする提案力、また技術力及び安全衛生管理のスキルアップを目指していきます。

当支部エリアは、中部国際空港開港以降、設置管理を愛知県に移管した「県営名古屋空港」があり、フジドリームエアライン(FDA)が国内9地区を結んでいます。当支部の今後の研修旅行は、県営名古屋空港を利用して各地区に赴き、新旧の建物を見学して見聞見識を深めていきたいと思っています。

〈歴代支部長〉

初代	信和建設(株)	清水 房江
2代	信和建設(株)	清水 利彦
3代	(株)高柳組	高柳 通

〈役員紹介〉

副会長・支部長	(株)高柳組	高柳 通
監事	(株)信和建設	清水 伸裕
理事	(株)野々川工務店	野々川民男
〃	(株)鈴木工務店	鈴木 裕二
評議員	大数建設(株)	稲垣 栄
〃	三山建設(株)	池山 悟
〃	(株)中山建設	中山 量之
〃	(株)服部工務店	服部 隆行

〈フォトアルバム〉



龍安寺石庭



原山台住宅建築工事（第8工区）



北陸かにツアー



高蔵寺高校改修工事



名北支部総会



つちおと
No.135 創立50周年記念号

編集 企画総務委員会

担当役員 伊藤 慎一
委員長 河原 達政
副委員長 石橋 克泰
委員 林 雅彦 小澤 高之
和田 光男 甲村 武文
遠藤 彰一 中島 清

発行日 平成30年7月25日

発行所 愛知県建築技術研究会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目19-30
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL (052)955-1107 FAX (052)955-1127
e-mail aikengi@deluxe.ocn.ne.jp
URL <http://www.aikengi.sakura.ne.jp/>

印刷所 株式会社 ワコーヴィスコム

〒462-0851 名古屋市中区木津根町61番地
URL <http://www.wako-viscom.co.jp>

表紙の題字

桑原幹根 元愛知県知事書



会旗・シンボルマーク

会旗・シンボルマークは、当会会員に公募し、豊田建設工業 伊藤とも子さんの作品です。

愛知県の(A)・建築技術(G)・研究会(K)をミックスデザインしたもので、2本の鋭い柱のうち1本は建物と、斜に伸びた1本はタワークレーンを表し、(K)の曲面はブルドーザーを表現したものであります。